

バリダシン[®]液剤5

バリダマイシン液剤

バリダシンは住友化学(株)の登録商標

Golf Course

発病を見てからの
散布でも
鋭い効果!

芝生用
殺菌剤

適用病害と使用方法 (抜粋)

(2019年8月現在の登録内容)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ)	1,000	1ℓ/m ²	発病初期	8回	散布
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ)	500	0.5~1ℓ/m ²			

※は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。



レインボー薬品株式会社

芝草のリゾクトニア菌による病害の専用治療剤

バリダシン[®]液剤5

農林水産省登録 第17386号
有効成分：バリダマイシンA 5.0%
性状：緑色澄明液体
毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
包装：1ℓ×10本

○ ブラウンパッチに対する効果

東日本グリーン研究所 (H12年)

薬剤	使用濃度	防除価	薬害
バリダシン液剤5	500倍	100	—
対照剤	500倍	85.3	—

品種：ベントグラス 薬量：500倍、0.5ℓ/㎡ 処理：6月20日 調査：7月3日(処理13日後)

○ 病原菌の病原性を喪失させます

バリダシンは散布後、リゾクトニア菌体内に速やかに取り込まれ、エネルギー源としてのグルコースの供給を遮断します。このため病原菌の活動は直ちに抑えられその効果が長く続きます。

○ 成分(バリダマイシン)は天然物由来の発酵生産物です

有効成分はストレプトマイセス・ハイグロコピカスという放線菌の培養液から単離した抗生物質で、リゾクトニア菌、白絹病菌に特異的に作用します。

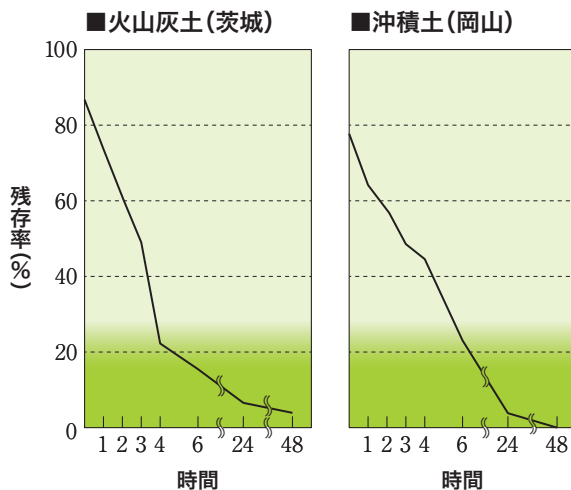
○ 安全性について

LD₅₀値(ラット、マウス急性経口)は5,000mg/kg以上、魚毒性値はコイ(LC₅₀):506mg/L(96h)、オオミジンコ(EC₅₀):>1000mg/L(48h)、緑藻(ErC₅₀):>1000mg/L(24~72h)で、哺乳類・水生生物に対して影響が少ない薬剤です。医薬用抗生物質との交差耐性は認められません。

○ 土壌中では短時間で分解します

散布後、土壌中の微生物により時間単位で消失します。半減期は約4時間で、処理48時間以内にほとんどなくなります。

化学分析コンサルタント (S56年)



○ 土壌微生物相に影響を与えません

土壌中には放線菌、糸状菌、酵母、細菌等さまざまな微生物が存在します。本剤はそれら有用な微生物の生育に悪影響を与えません。

⚠ 効果・薬害等の注意

- ・ボルドー液との混用はさける(分離)
- ・稲の苗立枯病に使用する場合、白絹病菌、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、その他の菌による苗立枯病には効果が劣るので注意。
- ・レタス、非結球レタスに使用する場合、すそ枯病の防除を主体とし、多発性の腐敗病には効果が劣ることがあるので注意。
- ・ばれいしよの種いもに使用する場合、下記の注意を守る。
 - ◆切断した種いもを処理する場合、切断面が乾いた後に行う。
 - ◆種いも散布の場合は、種いもを床などに拡げ、全体が均一にぬれるよう散布する。
 - ◆処理した種いもはよく風乾してから植付け。
- ・ふきに使用する場合、種茎浸漬処理と植付後の灌注を合わせて使用する。

- ・きく(秀芳の力等)、トマトにはかからないように注意(薬害)
- ・だいこんの軟腐病多発条件下では、なるべく早めに散布し、他剤と輪番使用をこころがける(効果)
- ・かんきつのかいよう病には他剤と輪番使用するとより有効(効果)
- ・ばれいしよの青枯病多発圃場では、登録のある土壌くん蒸剤等との併用処理をする(効果)
- ・ばれいしよの軟腐病に対しては効果が劣る場合があるので、他剤と輪番使用するとより有効(効果)
- ・本田の水稻に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型・速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- ・適用作物群に属する作物又はその新品種に使用の場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- ・眼に入らないように注意、眼に入った場合は直ちに水洗する(弱い刺激性)
- ・使用時は不浸透性手袋等を着用。
- ・公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域内に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- ・処理した種いもは食料や動物飼料にしない。
- ・空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

保管…食品と区別し、密栓して直射日光をさけ、冷蔵・乾燥した所。

■使用前にはラベルをよく読んでください。■ラベルの記載以外には使用しないでください。■小児の手の届く所には置かないでください。■空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

